

PJA TIMES

2024 第3号 VOL. 3, ISSUE3

プリンストン日本人会
PRINCETON JAPANESE ASSOCIATION
NEWSLETTER



目次/ Contents

P.1 PJA活動報告 / Activities P.2&3 春の会報告 / Spring Party Report
P.4&5 植村花菜さん / Ka-Na Audience Q&A P.6 PJA News

JULY 2024

活動報告 / Activities

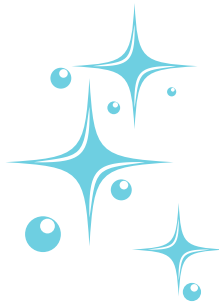
PICNIC

親子deあそぼ！



4月の親子deあそぼ！イベントのご報告です。予定日の4月18日はお天気が悪く、25日に延期してMontgomery Veterans Parkで5人のお子さん、5人のお母さんとボランティアが集まりました。はじまるよの歌でスタート。ピクニックシートに座って絵本を読んでもらいました。新聞紙で兜を作って大きな鯉のぼりと一緒に記念写真。公園の道を行進して、美味しいお菓子とランチをいただきながら、話に花が咲きました。少し肌寒かったですが、とても良いお天気でした。あっという間に時間が経って、また来月を楽しみに帰途に就きました。
(親子deあそぼ！委員会)

地域の清掃イベント



4月はEarthdayがある月で、多くの環境保護のイベントが行われます。PJA会員有志さんによる地域のお掃除イベントも毎年4月に行い、今年で11年目となりました。過去にはRoute 1近くのトレイルの掃除をしていましたが、今年は昨年に引き続きPrinceton Junction駅の駐車場内を清掃し、大きなごみ袋で7袋のごみを集めました。お天気が不安定でしたが、雨も降らずラッキーな1日でした。最後は皆さんとお茶をしながら会員交流を楽しみました。(青柳和子)

20th Anniversary Spring Party PJA創立20周年記念 春の会のご報告

プリンストン日本人会（PJA）は、5月18日に創立20周年記念「春の会」をプリンストンのマリオットホテルで開催しました。約140人の会員の皆さんにお集まりいただき、在ニューヨーク日本国総領事館の遠藤彰首席領事と羽根美重子領事もお迎えして、20周年を祝いました。

まず、ガーツマ裕子会長の開会の辞に続いて、遠藤首席領事からご挨拶を頂戴しましたが、その中で『PJA TIMES』4月号に掲載された記事「今年の抱負」の中にあった「トイレのお掃除」について触れてくださり、その親しみやすいお人柄に会場がなごみました。

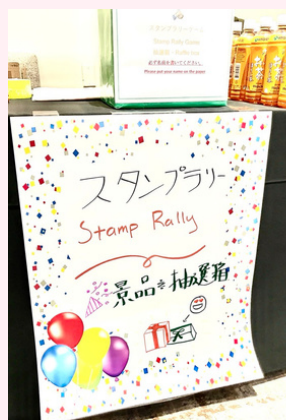


PJA創立時からの会員で2021年にノーベル物理学賞を受賞された眞鍋淑郎氏の奥様、眞鍋信子氏とボランティアの皆さんが作ってくださった桜餅と、ホテルのイタリアンビュッフェに舌鼓を打ちました。また、特別ゲストの植村花菜さんによる「トイレの神様」を聴いて胸が熱くなった方も多かったのではないのでしょうか。花菜さんのトークは楽しく、会場からの質問にも気さくにお答えいただき（⇒ P.4 Q&A）大変盛り上がりました。



20th Anniversary Spring Party PJA創立20周年記念 春の会のご報告

そして、プリンストン大学のTora Taikoのメンバーによる和太鼓とプロドラマー内田麻衣子氏率いるJazz Guitar Trioとの斬新でダイナミックなコラボが続き、Kids コーラスではお子さん達が可愛らしい歌声を披露してくれました。



また、支援スポンサーのブース、ビンゴ、United 航空券のオークションも大盛況に終わり、会員の輪がさらに広がる、20年目を記念する良き日となりました。

翌日には、仲間意識ができた、楽しいひと時だったなど、労いのメールを皆さまからいただき感謝しております。領事館公式SNSに20周年記念「春の会」の記事と写真を掲載していただけたので、皆さんも是非ご覧になってください。



<https://www.facebook.com/JapanConsNY>



植村花菜 (Ka-Na) さん

春の会ミニコンサート
参加者から花菜さんへの質問

Q&A



2010年の紅白に出場されましたが、SMAPなどのグループと一緒にしたか？

SMAPは出てませんでしたが嵐がいました。嵐とは同じ世代で、相葉君は同じ学年で翔君は1歳上です。

紅組が勝ったんですか？

勝ったかな？覚えてないなあ。勝ったことにしておきましょうか？ 勝ちました。

花菜さんが尊敬する歌手は？

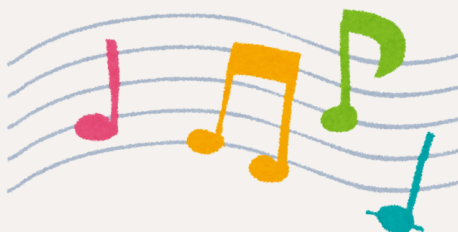
私が歌手になりたいと思うきっかけをくれたのは『サウンドオブミュージック』のジュリー・アンドリュースです。あの映画を観て歌手になると決めたんです。もうひとりカーペンターズの妹さん、カレン・カーペンターです。カレンのような優しくて温かく、芯があって凛としていて、ずっとあきがなくて何十年先も聞ける歌声、そういう歌を歌いたいなと思って自分も作ってるし歌ってるので、そのおふたりが一番あこがれの歌手です。

歌を作っているとき何を考えていますか？

私が作る歌って全部実体験なんです。自分が経験した事で嬉しかったこと、悲しかったこと、気づきがあったこと、その中で学びがあって。人生の中で色んな浮き沈みがあるけど、学びや気づきがあった時にそれを歌にしたい。嬉しい時でも悲しい時でも、自分の経験の中から気づいたことを歌にするので、今でも24時間寝てるときもずっとアンテナ張ってます。寝ながらパッと目覚めて携帯でボイスレコーダー吹き込むときもあるし、お散歩してるときにパッと浮かんできて携帯にメモったり吹き込んだりします。常に自分の人生が全て歌になるんで、気づきがある時に歌にしようと思う。

(将来、わたしは) 音楽系に行きたいんですが、昔の自分に教えたことありますか？

とにかく諦めないこと、信じ続けることじゃないですか？こういう仕事って応援してくれる人もいるし、そんなんなれるわけないってバカにされることもあるし。小さい時は、歌手になりたいって言ったらそんなんなれるわけないよって山ほど言われてた。でも人に何と言われようと、いや、私はなるんだと思いました。馬鹿にされようが何だろうが、私は絶対なるんだと自分を信じる気持ちが一番大事なことで、自分が信じてても色々な事があって、くじけそうに、諦めそうになる事があるけど、そんな時も絶対諦めない。辛くても諦めなかったら絶対いつか手が届く。諦めたらそこでお終いやから絶対自分を信じる、誰に何を言われようと私はなるんだと強い気持ちとどんな困難でも乗り越える、諦めない気持ちさえあれば音楽の仕事でもどんな仕事でもどんな夢でも、その2つさえあれば必ず自分の夢をかなえられると思います。それは強く伝えたいですね。頑張ってください。



Q&A



好きな楽器は何ですか？

難しいな～何やる？ もちろんギターも好きやしピアノも好きやし、そんな質問は初めてやな～。うちの息子が9歳で、実はそこに座っているんですが。バイオリンをアピールしてます、バイオリン弾けたら凄くいいな～と。「習ったらいいいやん！（と息子さんの声）」（会場どっと沸く）彼にも最近妹が生まれまして、一昨日6カ月になりました。あそこにパパがいます、抱っこしてます。ギターは、弾きながら歌うのに慣れてるので、楽。一応ピアノも弾きながら歌うこともあるけどよく失敗して笑ってごまかしたり。嬉しいですね、子供たちから質問してもらえて。

英語の歌を一生懸命考えてますって何かで、テレビで聞いたような気がするんですが、英語のフレーズとかメロディーをどんな感じで作ってますか？

曲を作る時、基本的に歌詞から作るんです。メロディーが降ってくる場合もあるのでその時はメロディーから作るんですけど基本的には歌詞から。こういう歌を作りたいっていう題材、気づきがあって、書きたい出来事があって何でこのテーマで作りたいかって長文の作文を書いて、そこから抜き取って歌詞を作っていくって、歌詞ができたらそれとにらめっこして、あなたはどんなメロディーですかって歌詞に聞くんです。言葉ってもともとメロディー持ってるんです。歌詞ができてその歌詞にどんなメロディーですか、教えて下さいって話しかけたら（実際話しかける訳じゃないですけど）、歌詞が歌ってくれるんです。私はこういうメロディーなのって歌詞が歌いかけてくれる。英語の場合も一緒に英語の題材がまずあって作文書いて歌詞ができます。英語の歌詞に「貴方はどんなメロディーですか」って聞くと、英語は日本語と全然違うイントネーションがあるじゃないですか。英語は英語のメロディーを教えてくれる。なので、歌詞から教えてもらう感じです。英語はネイティブでないので、イントネーションとかわからない時はあるので、その時はGoogleで、例えば「Important」って発音はどうやったかなと検索して、「Important」って言うてもらって、そういうの調べながら言葉にメロディー教えてもらって作ってます。



植村花菜さん (Ka-Na) プロフィール

- | | |
|--------|---|
| 2002年 | 1月、19歳の時に独学でアコースティック・ギターと作詞・作曲を始め、わずか2週間でオリジナル曲を完成、地元兵庫県川西市の駅前でストリートライブを開始。10月に「服部良一記念大阪音楽祭 ザ・ストリートミュージシャン・グランプリ'02」で見事グランプリを獲得。 |
| 2005年 | シングル「大切な人」でメジャーデビュー。 |
| 2010年 | ミニアルバム『わたしのかげらたち』に収録された「トイレの神様」が各方面で驚異的な反響を呼びロングヒットを記録。同年7月には上海万博で、初の海外パフォーマンスを大成功させる。
「トイレの神様」はドラマ化、小説・絵本化され、東京・大阪ではギャラリー展も開催されるなどの社会現象となる。
「日本レコード大賞」で優秀作品賞と作詩賞のW受賞。「NHK紅白歌合戦」に初出場。 |
| 2011年 | 仕事で訪れた米国テネシー州のナッシュビルで、日本とアメリカの文化や価値観の違いに衝撃を受け、翌年ギターを片手に一人で渡米し、約2ヶ月間の音楽武者修行を敢行。 |
| 2013年 | ジャズドラマー清水勇博氏と結婚、2015年に長男、2023年に長女を出産。 |
| 2016年～ | 家族でNYへ移住。アメリカではアーティスト名を植村花菜から「Ka-Na」に改名。現在はNYでのソロコンサートの他、カーネギーホールやケネディーセンター、シアトルなどでも演奏。さらなる新境地を拓きながら、現在も日本とアメリカを行き来しながら精力的に活動を行っている。 https://ka-na.us/ |



『NJ生活あれこれセミナー』開催

NJに新しく越して来られた方の力になればと、2007年秋に始まったセミナーです。
ネットワークを広げたい方、NJでの生活情報を集めたい方、会員でない方、皆さん大歓迎です！
まだ来られたばかりの方をご存知でしたら、是非お誘いください！

日時：10月12日

会場：Kingston Presbyterian Church内、PJAコミュニティハウス

<https://pja-nj.org/community-house/ch-access>

お問い合わせ：event@pja-nj.orgへメールでどうぞ。

内容：セミナー & 懇親会

NJに来られたばかりの方が対象ですが、長く滞在している方にも参考にいただける内容を計画しています。

『知っておきたい上手なアメリカの医療、教育機関の利用法、新しい環境での心のケア』by インザナ裕子氏

『交通事故の対処法など』by ウォン桂氏

『アメリカの確定申告、海外金融資産の報告義務、帰国時の注意点』by ガーツマ裕子氏

＊あれこれセミナーの当日ボランティアも募集しています。お手伝いしていただける方は
event@pja-nj.orgまでご連絡ください。

PJA TIMES プリンストン日本人会会報

編集長：ガーツマ裕子 企画：黒田康子 & メッツさゆり 編集/デザイン：メッツさゆり 編集スタッフ：フェイ薫

Princeton Japanese Association Website <https://pja-nj.org/>